

令和8年度 教育委員会事務局 宮古教育事務所 経営計画

1 組織の基本目標

宮古教育事務所は、岩手県教育委員会事務局の出先機関として、宮古市・山田町・岩泉町・田野畑村を所管区域とし、管内小中学校における教育に関する指導助言、教育相談、教職員の人事・給与事務、地域の生涯学習に関する指導助言等の業務を担う組織である。「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプラン及び「岩手県教育振興計画（2024～2028）」の基本理念を踏まえ、児童生徒・教職員の健康・安全を最優先に考えつつ、次の6つの重点に取り組みます。

- (1) 宮古がやるべき教育の推進
本県の未来を創造していく児童生徒を育成するために、東日本大震災津波や台風10号・19号の災害を受けた経験や教訓を踏まえた「いわて復興教育」の推進、一人ひとりの可能性を伸ばす学びの充実、魅力ある学校づくりに向けた生徒指導の充実を図ります。
- (2) 安心して学べる環境づくりへの支援
魅力ある学校づくりに向けて、特にいじめや不登校の組織的対応および生徒指導の充実を図り、学校が児童生徒にとって安心・安全な場所となるよう環境づくりを支援します。
- (3) 信頼される学校づくりへの支援
・教職員一人ひとりのコンプライアンス意識の醸成と行動規範の確保に努め、児童生徒・保護者・地域住民から信頼される学校づくりを支援します。
・職員の資質向上や組織体制の構築により内部統制の推進を図り、適正な事務処理の確保に努めます。
- (4) 働き方改革の推進
教育の質の向上と心身の健康を維持させるために、業務内容の精選や効率化を図りつつ、職員一人ひとりの働き方に対する意識改革に努め、率先して働き方改革を推進します。
- (5) 現場主義
学校や地域・市町村教育委員会・教育関係団体等の現状やニーズを的確に捉えて、きめ細かな教育の実践と教育環境の整備・充実を図るとともに、中・長期的なスパンを見据えた学校経営の支援と人材育成を推進します。
- (6) 「地域とともにある学校づくり」への支援
地域の実状を踏まえ、学校・家庭・地域が連携する仕組みづくりや、生涯にわたり学び続ける場づくりを支援します。

2 本年度の主要項目

今年度のキーワード 「相手意識」「現場主義」

- 【企画総務課】 ① 小中学校事務職員の資質の向上と適正な事務処理の確立
② 小中学校事務共同実施組織の業務推進の支援
- 【教務課】 ③ 学校経営の充実に向けた人材育成
(教職員担当) ④ 信頼される教職員としてのコンプライアンス意識の醸成
- (教育指導担当) ⑤ 岩手で、世界で活躍する人材の育成
⑥ 確かな学力の育成
⑦ 豊かな心の育成
⑧ 健やかな体の育成
⑨ いじめ問題への確かな対応と不登校対策等の推進
⑩ 共に学び、共に育つ特別支援教育の充実
- (生涯学習担当) ⑪ 学校と家庭・地域との協働の推進
⑫ 生涯にわたり学び続ける環境づくり

内部統制の目的を達成するための年間取組目標	
年間取組目標	目標を達成するための具体的な方策
<ul style="list-style-type: none"> ・ 不適切な事務処理ゼロ ・ リスクマネジメントの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各職員が担当業務に係る自己点検及び相互チェックを日常的に積み重ね、事務処理の一層の適正化を図る。 ・ 日常の業務遂行において発生した不適正な事務処理になりかねない事項について、インシデント・アクシデント事例記録表に記録することにより、各課または所属全体で発生状況の要因や背景を把握・共有し、再発防止を図る。

項目 (何を)	目指す姿、ゴール (中長期的な目標)	当該年度の達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法（具体的取組） (重要なプロセス・チェック方法等) 【庁内外の連携先】	第 四半期 評価A：計画どおり進捗B：やや遅れているC：遅れている		
				取組実績	区分	評価区分がB・Cの場合 ：その要因（原因）
1 小中学校事務職員の資質の向上と適正な事務処理の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校事務の恒常的な適正処理が確立されている。 ・ 小中学校における事務職員としての役割を遂行し、学校経営への積極的参画を果たしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校事務職員が必要な知識を習得し、事務処理上の課題解決に積極的に取り組んでいる。 ・ 学校経営への参画のための知識と積極性を有している。 ・ 小中学校事務職員を対象とした研修会を実施する。(受講者アンケートの受講満足度5段階評価平均4以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校を対象とした事務状況調査の実施(7～9月)【管内各市町村教委】 ・ 予算執行状況等の的確な把握のための給与・旅費に関する各種調査の実施 ・ 学校教育目標達成のための学校割当旅費の効果的な執行の支援 ・ 新採用～5年目までの事務職員(初任事務担当者)を対象とした給与・旅費等実務研修会の開催(5月・8月) ・ 管内小中学校事務職員を対象とした職務上必要かつ多様な知識を得ることができる研修会の開催(9月) ・ 小中学校事務職員の各種研修等の受講勧奨【教職員課・人事課】 			

項目 (何を)	目指す姿、ゴール (中長期的な目標)	当該年度の達成レベル・目標 (いつまでに、どのような状態にするか)	達成手段・方法(具体的取組) (重要なプロセス・チェック方法等) 【庁内外の連携先】	第 四半期まで 評価A：計画どおり進捗B：やや遅れているC：遅れている		
				取組実績	区分	評価区分がB・Cの場合 ：その要因(原因)
2 小中学校事務 共同実施組織の業 務推進の支援	・小中学校事務共同実施組織において、組織 的かつ効果的な運営により、学校経営が円滑 に行われている。	・諸手当認定及び確認に係る精度を上げ、過 年度並びに3ヶ月以上の返納・追給事案を減 少させる。 ・新採用及び初任臨時事務職員が、条例・規則 を理解した上で基本的な事務処理能力を有し ている。 ・共同実施組織内においても積極的に自分の 役割を果たそうとする経験2～6年目の小中 学校事務職員を育成し、連携意識の強化を図る。	・共同実施推進会議並びに共同実施総括等会議を 開催し、運営体制の確認と取組目標の共有(6月)、 当該年度の成果と課題を話し合い、次年度計画策 定支援(10月)【管内各市町村教委】 ・共同実施総括等会議において、過年度並びに3 ヶ月以上の返納・追給事案と再発防止策に係る情 報共有(10月) ・面談等の機会を利用して小中学校事務職員の意 識を醸成			
3 学校経営の充 実に向けた人材育 成	・職務に応じた人材育成の推進に向けて各種 研修や指導・助言に努める。 ・初任者を含めた若手教員のサポートに取り 組む。	・「校長及び教員としての資質の向上に関する 指標」及び「勤務状況確認シート」や「Plant」、 「資質向上のためのセルフチェックシート」を 活用した人材育成の取組を支援する。 ・指導力向上へ向けた校内OJTの活性化 ・指導力向上関係事業等の積極的活用と充実 を図る。	・計画的な学校訪問による支援 所長、企画総務課長、教務課長による訪問 教育相談員による訪問 ・管理職等研修会において組織マネジメントの手 法を取り入れた演習の実施 校長研修講座(6月) 副校長・主幹教諭研修会(7月) ・ルーキーサポート、2・3年目フォローアップ 事業、講師派遣事業での実態把握と教育委員会、 学校との情報共有			
4 信頼される教 職員としてのコン プライアンス意識 の醸成	・教職員の使命感と実践意欲の向上及び服務 意識の高揚を図るための支援を行う。	・所属長の「コンプライアンス宣言」によ る。全職員のサービス意識の高揚を図る。 (実施率100%) ・毎月のコンプライアンスの取組及び年2回 の職場研修の確実な実施によるコンプライ アンス意識の醸成に努める。(実施率100%) ・市町村教育委員会との連携により飲酒運 転事案、体罰事案(不適切な指導含む)の根絶 を図る。(発生件数0) ・働き方改革の推進	・小中学校の管理職の会議、研修会において、取 組み状況(体罰防止チェックシートやコンプライ アンス取組推進状況確認シートの活用状況)の交 流等を行う。 ・事務所だより等を通じて、不祥事未然防止に努 める。 ・初任者研修・臨時教員研修等において、教職員 の服務等の周知徹底を行う。 ・学校訪問時の管理職面談による教職員の実態把 握と対策への支援			

項目 (何を)	目指す姿、ゴール (中長期的な目標)	当該年度の達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (具体的取組) (重要なプロセス・チェック方法等) 【庁内外の連携先】	第 四半期まで 評価A：計画どおり進捗B：やや遅れているC：遅れている		
				取組実績	区分	評価区分がB・Cの場合 ：その要因 (原因)
5 岩手で、世界で活躍する人材の育成	<p>◆「いわての復興教育」およびキャリア教育の推進</p> <p>○将来の夢や目標を持ち、自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手育成</p> <p>○「いわての復興教育」の目的の実現や教育的価値の育成に向けた活動の推進</p> <p>○社会人・職業人として自立するための能力を育成するためのキャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成</p>	<p>◆将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 ※「将来の夢や目標を持っていますか」に肯定回答する児童生徒の割合【県学調】</p> <p>【R8 目標値 (過去5年分平均) (R7 実績値)】 小 88.3 (87.3) (85.4)、中 75.0 (74.0) (75.4) ※目標値は過去5年分平均値に+1</p> <p>◆いわての復興教育の充実 事後確認にて実施状況の調査 各項目の今年度の充実度に肯定回答をする学校数 (2月実施)</p> <p>1、教科横断的な視点 (12校/35校) 2、評価と改善 (20校/35校) 3、地域連携 (26校/35校)</p>	<p>(いわての復興教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> いわての復興教育研修会 いわての復興教育スクール、交流学习スクール、震災学習列車活用スクール、防災教育スクール 岩手県防災教育研修会 教務主任研【いわての復興教育を踏まえたカリキュラムマネジメント】 <p>【基本研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> 初任研：一般研【いわての復興教育の意義・進め方(知る)】 2年目研：授業研【復興教育の実践交流(作る)】 5年目研：一般研【復興教育における指導改善(高める・広げる)】 中堅研：一般研【復興教育の計画的・組織的な取組の在り方について(広げる)】 <p>(キャリア教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実践的キャリア教育研修会 <p>【基本研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> 初任研：授業研【「一人一人のキャリア形成と自己実現」の理解】 2年目研：授業研【学級活動(1)研究協議】 5年目研：授業研【自己分析と目標設定を通じた自己実現、キャリアパスポートについて】 <p>(各基本研修で「いわての復興教育」やキャリア教育の視点に触れ研修を深める)</p>			
6 確かな学力の育成	<p>◆確かな学力を育成し、一人ひとりの可能性を伸ばす学びの充実のための組織的な取組の推進</p> <p>○学力(資質・能力)の確かな向上</p> <p>○児童生徒の実態に応じながら着実に現行学習指導要領の内容を具現化する授業改善の推進</p>	<p>◆同一集団内における学力調査の県比偏差値の向上(知識・技能、思考・判断・表現) 【新入生学調、県学調、全国学調】</p> <p>※小3・小4児童については可能な限りGRTも活用</p> <p>A：有意差(p<.05)あり B：0.5ポイントの増加 C：低下、変化なし</p> <p>◆意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合</p> <p>※「授業中、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか」 【県学調】</p> <p>積極肯定回答 1pt 増 消極否定回答 0.5pt 減</p> <p>【R8 目標値 (R7 実績値)】</p> <p>小：積極肯定 30.8% (29.8%) 消極否定 2.8% (3.3%)</p> <p>中：積極肯定 27.0% (26.0%) 消極否定 3.8% (4.3%)</p> <p>◆授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合</p> <p>※「授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」 【県学調】</p> <p>積極肯定回答 1pt 増 消極否定回答 0.5pt 減</p> <p>【R8 目標値 (R7 実績値)】</p> <p>小：積極肯定 40.9% (39.9%) 消極否定 3.0% (3.5%)</p> <p>中：積極肯定 40.5% (39.5%) 消極否定 2.4% (2.9%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究会や研修講義における指導・助言力の向上を図るため、指導主事会議で研修会を実施 教務主任研修会 研究主任研修会 初任者研修講座、中堅教諭等資質向上研修講座 臨時的任用教員研修会 ルーキーサポート事業、2年目・3年目フォローアップ事業 授業力向上マイスター(指導教諭活用)事業 授業力向上ブラッシュアップ事業 <p>※ブラッシュアップ事業については、質的な向上を一層図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師派遣事業 I型【校内授業研究会講師派遣】 II型【臨時的任用教員等個別支援訪問】 III型【校内研修支援】 「研究主任支援」 「授業改善(ICT活用を含む)」 <ul style="list-style-type: none"> 学力育成授業力強化事業中学校訪問(中学校<数学・英語>) 確かな学力育成プラン推進に係る小学校訪問 地区別教育課程協議会 <p>※教員研修については、内容の充実をさらに図る。</p>			

項目 (何を)	目指す姿、ゴール (中長期的な目標)	当該年度の達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (具体的取組) (重要なプロセス・チェック方法等) 【庁内外の連携先】	第 四半期まで 評価A：計画どおり進捗B：やや遅れているC：遅れている		
				取組実績	区分	評価区分がB・Cの場合 ：その要因 (原因)
7 豊かな心の育成	<p>◆道徳教育の充実と組織的な取組の推進</p> <p>○自他の生命を大切に、他者の人権を尊重する心の育成をする人権教育の充実を図る。</p> <p>○道徳的実践を行うために必要な内面的資質を養う道徳科の授業を要とした道徳教育の充実を図る。</p> <p>○特別活動等を中心とした体験活動の充実を図る。</p>	<p>◆自己肯定感をもつ児童生徒の割合 ※「自分にはよいところがあると思う」に肯定回答する児童生徒の割合【県学調】</p> <p>【R8 目標値 (過去5年分平均) (R7 実績値)】 小 75.2 (74.2) (73.0)、中 75.0 (74.0) (80.1) ※目標値は過去5年分平均値に+1</p>	<p>・初任者研修、2年目研修、教職経験者5年研修、中堅教諭等資質向上研修、教務主任研修会、生徒指導研修会等において、道徳教育及び人権教育に触れ研修を深める。</p> <p>・ルーキーサポート・フォローアップ事業 (学級経営・特別活動の充実)</p> <p>・講師派遣事業 I型【校内授業研究会講師派遣】 II型【臨時的任用教員個別支援訪問】 III型【校内研修支援】 (道徳科の授業改善や人権が尊重される授業づくりや体験活動の充実に向けた視点を踏まえた指導助言を行う)</p>			
8 健やかな体の育成	<p>◆児童生徒の運動習慣、食習慣及び生活習慣の改善による体力の向上や健康の保持・増進</p> <p>○「よりよい運動習慣」、「望ましい食習慣」及び「規則正しい生活習慣」の形成を一体的に捉え、体力の向上や健康の保持・増進に向けて、学校組織全体で取組を推進するよう、指導者の資質向上を図る。</p>	<p>◆体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合 ※体力・運動能力調査の総合評価がA・B・C段階の児童生徒の割合【岩手県体力運動能力調査】 【R8 目標値 (過去5年分平均) (R7 実績値)】 小男 64.1 (63.1) (64.9) 小女 75.2 (74.2) (71.5) 中男 72.8 (71.8) (72.7) 中女 84.0 (83.0) (78.3) ※目標値は過去5年分平均値に+1</p> <p>◆自校の「運動習慣」「食習慣」「生活習慣」の課題をもとに、目指す子どもの姿に向かって立てた計画通り取り組むことができた学校の割合 (積極的肯定回答)【60 (ロクマル) プラスプロジェクト推進計画】 【R8 目標値 (R7 実績値)】 小 47.6 (10/21校) (/21校) 中 31.2 (5/16校) (/16校)</p> <p>〈運動習慣〉 ◆運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合 (肯定回答)【岩手県体力運動能力調査】 【R8 目標値 (過去4年分平均) (R7 実績値)】 小 94.0 (93.0) (94.0)、中 87.7 (86.7) (87.7)</p> <p>◆体育・保健体育の授業が楽しいと感じている児童生徒の割合 (肯定回答)【岩手県体力運動能力調査】 【R8 目標値 (過去4年分平均) (R7 実績値)】 小 96.1 (95.1) (95.5)、中 91.0 (90.0) (91.1) ※目標値は過去4年分平均値に+1</p> <p>〈食習慣〉 ◆朝食を毎日食べる児童生徒の割合【岩手県体力運動能力調査】 【R8 目標値 (過去3年分平均) (R7 実績値)】 小 85.8 (84.8) (85.0)、中 83.3 (82.3) (83.0) ※目標値は過去3年分平均値に+1</p> <p>〈生活習慣〉 ◆毎日一定の時刻に就寝する児童生徒の割合【全国学調】 【R8 目標値 (過去4年分平均) (R7 実績値)】 小 85.2 (84.2) (83.5)、中 85.4 (84.4) (84.3) ※目標値は過去4年分平均値に+1</p>	<p>○60 (ロクマル) プラスプロジェクトの推進</p> <p>・60 (ロクマル) プラスプロジェクト推進計画の作成 (優良取組・連携の具体の例示)</p> <p>・中学校への悉皆訪問 (2年間で実施)</p> <p>〈運動習慣〉 ・体力・運動能力調査の実施、分析、情報提供 ・地区別体力向上担当者研修会 (中学校) ・地区別授業改善研修会 (小学校) ・中学校武道地域指導者派遣事業 ・体育・保健体育授業サポート事業</p> <p>〈食習慣〉 ・食育担当者研修会 ・食育推進研修会 ・食に関する指導 (食育) の実施状況調査等</p> <p>〈生活習慣〉 ・学校保健研修会 ・定期健康診断の分析結果の活用 ・養護教諭等訪問で取組状況の確認 ・地区別体力向上担当者研修会、地区別授業改善研修会</p>			

項目 (何を)	目指す姿、ゴール (中長期的な目標)	当該年度の達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法 (具体的取組) (重要なプロセス・チェック方法等) 【庁内外の連携先】	第 四半期まで 評価A：計画どおり進捗B：やや遅れているC：遅れている		
				取組実績	区分	評価区分がB・Cの場合 ：その要因 (原因)
9 いじめ問題への確かな対応と不登校対策等の推進	<p>◆魅力ある学校づくりによる、いじめ問題への確かな対応と不登校対策等の推進</p> <p>○いじめの未然防止・早期発見・早期対応等、生徒指導の充実を図る。</p> <p>○不登校児童生徒を「新規と継続」で分けて把握し、「新規」の不登校児童生徒を出さないような取組や「継続」の不登校児童生徒への取組の推進を図る。</p>	<p>◆いじめ解消率の向上 【R8 目標値 (R7 実績値)】 小 81.7% (76.7%)、中 76.1% (71.1%) (県：小中平均 79.2%、国：小中平均 76.1%)</p> <p>◆不登校出現率の減少 【新規不登校数】 小→100人あたり0.1名以上の減少 中→100人あたり0.2名以上の減少 【出現率】 小→0.3ポイント以上の減少 中→0.5ポイント以上の減少 ※以下参考情報 <新規>4月～10月(100人あたり) R6 小14 (0.50)名、中26 (1.76)名 R7 小14 (0.54)名、中18 (1.21)名 <継続>4月～10月(100人あたり) R6 小22 (0.79)名、中66 (4.47)名 R7 小21 (0.80)名、中72 (4.85)名 <出現率>10月まで R6 小1.33%、中6.16% R7 小1.14%、中6.16%</p> <p>◆学校が楽しいと思う(学校に満足している)児童生徒の割合 ※「学校に行くのは楽しいと思いますか」 【県学調】 積極肯定回答1pt増 消極否定回答0.5pt減 【R8 目標値 (R7 実績値)】 小：積極肯定 50.8% (49.8%) 消極否定 2.1% (2.6%) 中：積極肯定 46.6% (45.6%) 消極否定 4.2% (4.7%)</p> <p>◆目標を持っている児童生徒の割合 ※「あなたは将来の夢や目標をもっていますか」 【県学調】 積極肯定回答1pt増 消極否定回答0.5pt減 【R8 目標値 (R7 実績値)】 小：積極肯定 62.3% (61.3%) 消極否定 4.4% (4.9%) 中：積極肯定 39.4% (38.4%) 消極否定 7.4% (7.9%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修、2年目研修、教職経験者5年研修、中堅教諭等資質向上研修での「発達支持的生徒指導」の充実 ・指導主事会議において、不登校児童生徒出現率の高い学校に対する対応や汎用性が比較的高い好事例の情報共有 ・生徒指導研修会 ・講師派遣事業 Ⅲ型【校内研修支援】「生徒指導」 ・スクールカウンセラー配置事業、スクールソーシャルワーカー配置事業、在学青少年指導員学校訪問 ・宮古支援チーム会議 ・関係機関(教育支援センター・児童相談所等)との連携 ・スクールソーシャルワーカーによる保護者支援 ・ふれあい電話相談 			
10 共に学び、共に育つ特別支援教育の充実	<p>◆共に学び、共に育つ特別支援教育の推進のための全教職員の理解と専門性の向上</p> <p>○卒業後を見据えながら、個々の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図るとともに、関係機関とのネットワークを構築する。</p> <p>○全ての教職員の特別支援教育についての理解を促し、交流及び共同学習の充実を図る。</p>	<p>◆1 「引継ぎシート」を活用し、進学時に円滑な引継ぎを行っている学校の割合 ※特別な支援を必要とする児童生徒が在籍している学校のうち、引継ぎシート等を活用して引継ぎを行った学校の割合 【いわて特別支援教育推進プラン進捗状況調査】 【R8 目標値 (R7 実績値)】 小 100 (100)、中 100 (100)</p> <p>◆2 新任特別支援教育担当者フォローアップ事業の活用回数 【R8 目標値 (R7 実績値)】</p>	<p>◆1について 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅰの講義内において、エリアコーディネーターから引継ぎシート(PASS)活用方法について説明を行う。</p> <p>◆2について ・1回目悉皆、2回目以降希望の旨を、年度当初の校長会および発出文書にて周知徹底を図る。 ・1回目実施の際に、エリアコーディネーターから2回目の予定について打診する。 ・成果や課題の把握に努め、支援の改善や充実を図る。</p>			

項目 (何を)	目指す姿、ゴール (中長期的な目標)	当該年度の達成レベル・目標 (いつまでに、どういう状態にするか)	達成手段・方法(具体的取組) (重要なプロセス・チェック方法等) 【庁内外の連携先】	第 四半期まで 評価A：計画どおり進捗B：やや遅れているC：遅れている		
				取組実績	区分	評価区分がB・Cの場合 ：その要因(原因)
		<p>対象者全員2回以上(対象者全員1回)</p> <p>◆3 特別支援教育中核コーディネーター活用事業の活用校数 【R8 目標値 (R7 実績値)】 電話相談：16校以上※各校区1校以上</p> <p>◆4 新任特別支援教育担当者フォローアップ事業における通常学級担当者の希望相談申請数 【R8 目標値 (R7 実績値)】 新任特別支援教育担当者所属校数(-)</p> <p>※特別支援教育にかかわる授業研究会・研修会は、県・事務所・市町村が行う事業とし、就学にかかわる個別の相談等は除く。</p>	<p>◆3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任担当者は電話相談、2年日以降担当者は電話相談・訪問相談・来校相談を原則とする。 ・中核コーディネーターの連絡先を各校に配布し、電話付近への掲示を依頼する。 ・特別支援教育関連研修時における呼びかけや、定期的なチラシ・フライヤーの配布により、事業内容について周知を図り活用を促進する。 ・相談・面談の一部オンライン化を進める。 <p>◆4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の校長会において事業の趣旨と内容について説明を行う。 ・エリアおよび中核コーディネーターと各校コーディネーターとの連携を強化し、校内で事業の周知を図り、通常学級担当者の特別支援教育の理解の向上に繋げる。 ・各種フォローアップおよび訪問等事業実施の際に、通常学級担当者の希望相談について周知する。 <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校児童生徒の交流籍を活用した交流及び共同学習 			
11 学校と家庭・地域との協働の推進	<p>◆学校と家庭・地域が連携・協働し、子どもの学びや育ちを支える持続的な取組の充実</p> <p>○市町村教育委員会(学校教育・社会教育)と連携し、コミュニティ・スクールにおいて、学校と家庭・地域が連携・協働する取組を推進するため、研修会の開催や情報提供の充実を図る。</p>	<p>◆宮古地区「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムにおける各学校運営協議会からの地域住民参加数 【R8 目標値：15組/19組(80%)】 ※R7 実績 10/19 (52.6%)</p> <p>◆「コミュニティ・スクールの仕組みを通して、特色ある学校づくりが推進されていますか」に積極肯定回答する割合 【R8 目標値】 40% ※R7 実績 37.1% 【教振・地域学校連携窓口教員設置状況調査】</p> <p>◆自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合(積極肯定) 【R8 目標値 小：71% 中：60%】 ※R7 実績 小：69% 中：58%【県学調】</p>	<p>・宮古地区「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム</p> <p>・地域学校協働活動推進員(コーディネーター)地区別研修講座</p> <p>・地域学校協働連携・協働推進のための訪問支援(随時)</p> <p>・学校・家庭・地域連携協力推進事業(国庫事業)</p> <p>・教育振興運動・地域学校協働活動推進状況調査</p> <p>・所内会議・指導主事会議での情報提供</p> <p>・所報発行による周知(宮古の風、社教通信)</p>			
12 生涯にわたり学び続ける環境づくり	<p>◆地域住民の主体的な参画や学びの成果が地域で生かされる環境の整備</p> <p>○各市町村や各種団体と連携し、研修会を通して、社会教育関係職員等の資質向上を図る。</p> <p>○家庭・地域・学校等が連携し、生涯を通じて楽しく学ぶ基盤づくりのため、乳幼児期からの発達段階に応じた読書活動の推進を図る。</p>	<p>◆「読書が楽しい」と感じる児童生徒の割合(「あなたは、読書をすることを楽しいと思いますか」に肯定回答する児童生徒の割合) ※岩手県子どもの読書状況調査 【R8 目標値 (R8 県目標値)】 小：87%(県目標90%) ※R7 管内実績 85.1%、(R7 県目標90%) 中：86%(県目標85%) ※R7 管内実績 84.1%、(R7 県目標85%)</p>	<p>・子どもの読書活動推進事業</p> <p>① 宮古地区読書ボランティア研修会 【家庭】【地域】</p> <p>② 宮古地区中・高等学校図書館担当者等研修会 【家庭】【地域】【学校】</p> <p>③ 宮古地区子どもの読書活動推進会議 【家庭】【地域】【学校】</p> <p>④ 岩手県子どもの読書状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム社教事業(通年) ・所内会議・指導主事会議での情報提供 ・所報発行による周知(宮古の風、社教通信) 			